

2019 年度

中国留学報告書

実習先；北京師範大学

期間；8月26日～12月28日

新潟国際情報大学

国際文化学部

21018029 榊澤 新太

目次

1 留学先及び実習期間	3
2 留学先概要	3
3 留学目的	3、4
4 留学内容	4、5
4－1 留学スケジュール	
4－2 留学詳細	
5 当初目的・目標の達成度	5
6 反省と課題	6
7 謝辞	6
付録	7、8、9

I 留学先及び実習期間

留学先；北京市 北京師範大学

実習期間；令和1年8月26日～令和1年12月28日

帰国日；12月28日

2 留学先概要

(1) 大学について

北京師範大学は、中華人民共和国の北京市海淀区に位置する。北京市には多くの大学が存在しているが、その中でもレベルが高く、非常に大きい大学である。師範大学には、言語学科だけではなく、他にも多くの分野を学ぶことが可能で、多くの生徒が集まっている。また、他大学からも研究生として入学する生徒も多い、研究などをするには良い環境でできる大学である。

サークルなどにも力を入れている大学である。幅広い分野や趣味のサークルが存在するため、多くの生徒が過ごしやすくできている。各国の有名なスポーツなども取り入れている。また、留学生向きのももあり国際交流ができる。

(2) 大学での教育

北京師範大学には、世界中から多くの留学生が来るため、留学生向けの漢語文化学科を設け、各自の能力によってクラス分けされて各自に合ったレベルで学習できる。クラスには、初級から中級、上級になっており、各級にいくつかのクラスに分かれている。各クラスの人数は多くないため、教師が生徒全員を見ることができ、1人1人の疑問に答えることができる。そのため、質の高い教育環境で学習できる。また、教師と相談することで、クラス昇格試験が受けることができるため、学習意欲の向上にもつながっている。

3 留学目的

今回の留学目的は、二つある。一つ目は、中国語の向上である。日本での大学での学習でも向上することができるが、やはり限度がある。現地の人と日常会話やビジネス会話をするためには、現地に行かなければわからないことが多くある。言語は日々変化していくもので、教科書や課題だけでは変化についていけず、社会に出て分からない言葉が出てくる。そのため、実際に現地に足を運び実際に触れることが、一番良いと考えた。また、日本人は、聞き取りに対して苦手である。そのため毎日ネイティブの中国語を聞き理解していくのが、一番の近道である。

二つ目は、国際交流である。日本も今ではグローバル化が進んでいる。そのため、社会に出てから海外との交流は欠かせないものとなる。その時に、多くの国の人と話したことがあるかで大きく変わっていく。各国によって考え方、思考は違うため理解して会話する必要がある。こちらの方で正しいことでも、他国からしたら失礼に値することもある。現代では、情報がものをいう時代である。多くの情報を持って相手と話すことにより、よりよく取引や交流することができる。また、国際交流していくことで、海外に着目、興味を持ち、深く知っていこうと意識改革にもなる。興味を持つことにより、海外に対しての知識が増え社会で貢献できると考えた。

4 学習内容

4-1 留学スケジュール

月	日・曜日	午前	午後
8	26 (月)	日本出国	中国着 (21時)
	27 (火)	携帯購入	
	28 (水)	入学手続き	銀行口座の開設
	29 (木)	クラス分けテスト	
	30 (金)	入学式	
9	2 (月)	授業開始	
	15 (日)	中日学生交流	
10	1~7	国庆节	
10・11	31~1	中間試験	
11	3~10	黄山研修	
12	1 (日)	HSK (人によって変わる)	
	23~24	期末試験	
	27 (金)	留学生 終業式	
	28 (日)	帰国	

4-2 留学詳細

(1) クラス分け試験

自分の中国語のレベルに合ったクラスを決める試験。筆記・リスニング・口頭試験の三つを行い、クラスが決まる。

(2) 日中交流会

北京師範大学の日本語学科の生徒との交流。お互いに出し物を用意して発表や会話をし、仲を深める。

(3) 中間試験

听力, 会話, 读写の三教科の試験。

(4) 黄山研修

クラスごとに分かれており、班によって回るコースが違う。その地の歴史的建造物、博物館や中国の歴史などを学ぶ。

(5) 北京の夜

各国の留学生がダンスなどを披露する。クラブや部活なども披露する。

(6) 期末試験

中間試験と同様に行う。

5 当初目的・目標の達成度

今回の留学の目的の達成度をまとめる。

(1) 語学力の向上

留学当初は、日本で学んでいたものが咄嗟にでてこず、会話ができずにいた。また、リスニングも話している言葉の意味や発音を理解することができずにいたが、4か月の間日本語が通じない環境に身を置いていたため、後半には、生徒や先生と会話ができるようになった。クラスメイトや先生との毎日の会話で語学力が向上した。また、日々の課題により学習意欲の向上にもなった。ここで、語学力の向上を確認できた。今後もさらに語学力を伸ばすために勉学に励む必要がある。

(2) 国際交流

日中交流会で出会った中国人の友達と中国の名物を食べたり、会話をすることによって、中国での生活や中国人から見た日本を知ることができた。また、中国の状況も知ることができた。他にも、クラスメイトと食事や観光に行き他国のことを聞き日本との違いを知ることができた。ここでは、多くの国の人と接することで異文化理解ができ、将来の夢の糧になった。

6 反省と課題

中国語が上手に話せなかったため、クラスでは、積極的に自分の意見や意思を伝えることができずにいた。また、質問なども聞けずにいた。もっとジェスチャーや表情を使い、積極的に行けばよかったと反省している。海外に来たというのに日本に居たときと同じようにしてしまっていた。課題として、消極的にならず、自分の意思をしっかりと相手に伝えることである。日本人は消極的になりやすい所もあるため、その殻を破り、意思を伝えることによって大きく変わると考える。次に今後中国語に触れる機会が留学していたころに比べて大きく減るため、日々中国語の勉強に励む必要がある。留学で得たものをこれから生かし、無駄にしてはならない。

7 謝辞

今回の留学において、北京師範大学で中国語を指導して下さった先生方、中国のことや学校のことを優しく教えて下さった羅穎さん、留学までの指導や留学し右も左も分からなかった僕たちをサポートして下さった、區先生、佐藤先生そして、留学をさせて下さった両親に深く感謝しています。今回の留学には、多くの方々の協力があり実現することができました。留学をバネに多くのことを学びこれから先に生かしていきたいと思います。

付録

時間割表

時間	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五
8:00~8:45 8:55~9:40		听力	会话		
10:00~10:45 10:55~11:40	听力	读写	读写		听力
～昼休み～					
13:30~14:15 14:25~15:10	会话	中华才艺		会话	
15:30~16:15 16:25~17:10	辅导			读写	

聴力・・・教科書に記載されている単語理解し、CDからの音声を聞き取る授業。
会話・・・会話形式の文章を読み上げ、文法や単語を理解していく。文章についての質問などを先生からされ、質問を答えていく。また、課題としてスピーチもある。
読写・・・文法や単語を使い文章を考え言う。主に、文法の使い方を学ぶ。

101-1 時間割





